

JSSEC セキュリティフォーラム 2017

K-1、R-1 <利用部会・啓発事業部会・Re:inc 合同セッション>

「新社会人となる大学生の不安、 受け入れる企業の不安」

～スマホ、SNS世代の新社会人の
受け入れ対策は万全か？～

2017年2月8日

日本スマートフォンセキュリティ協会 (JSSEC)

アジェンダ

□ K-1 <利用部会・啓発事業部会・Re:inc 合同セッション> 13:00～13:45

(1) 各部会の取り組みについて 20分

■ 利用部会/啓発事業部会の活動ご紹介 10分

■ 学生団体Re:incのワークショップデモ 10分

(2) 大学生、社会人のネット意識調査 15分

■ 事前アンケート結果 15分

(3) パネリスト自己紹介 10分

===== 休憩 (15分) =====

□ R-1 <利用部会・啓発事業部会・Re:inc 合同セッション> 14:00～14:45

(4) パネルディスカッション 45分

■ テーマ1：パネリスト、会場の方のご意見 20分

■ テーマ2：パネリスト、会場の方のご意見 20分

■ まとめ： 15分

パネリスト（学生、社会人の立場）

安田会長（学生を送出す立場）

西本事務局長（新社会人を受入れる立場）

(1) 各部会の取り組みについて

■ 利用部会の活動ご紹介

利用部会長 後藤 悦夫 (ラック)

■ 啓発事業部会の活動ご紹介

啓発事業部会長 小池 勉 (コンテンツブレイン)

利用部会の活動ご紹介

■ 活動内容（パンフレットより）

<深化>

スマートフォンを安全に利用できるように
利用部会では、**安心・安全なスマートフォン利用のために**情報
収集と課題の整理を行い情報発信を目的に活動しています。

- ・ ガイドラインの発行
- ・ 講演会へ講師派遣、取材対応
- ・ 年4回利用部会のセミナー開催

<新化>

近年のスマートフォン**利用形態の変化に合わせ、利用企業の共通
的な経営課題を中心にテーマを選定し、利用事例の調査や新し
い技術の調査・研究**の成果をセミナーやJSSECホームページに
て発信して参ります。

利用部会の活動ご紹介

JSSEC 『スマートフォン&タブレットの業務利用に関するセキュリティガイドライン』
＜2014/04/17発行の【第二版】が最新＞

https://www.jssec.org/dl/guidelines_v2.pdf



■スマートフォンを安心安全に活用するために検討すべき点がまとめられている

①付録Aのチェックシート活用

付録A.....	29
A-1 特性別 対策チェックシート	29
A-2 利用シーン別 対策チェックシート	29

②チェックシートの不明な部分は本文の解説で確認 ・必要な部分のみ目を通す

■ 中期的な（3～5年間）の活動方針

① 「一億総活躍時代のモバイルワークとセキュリティ」

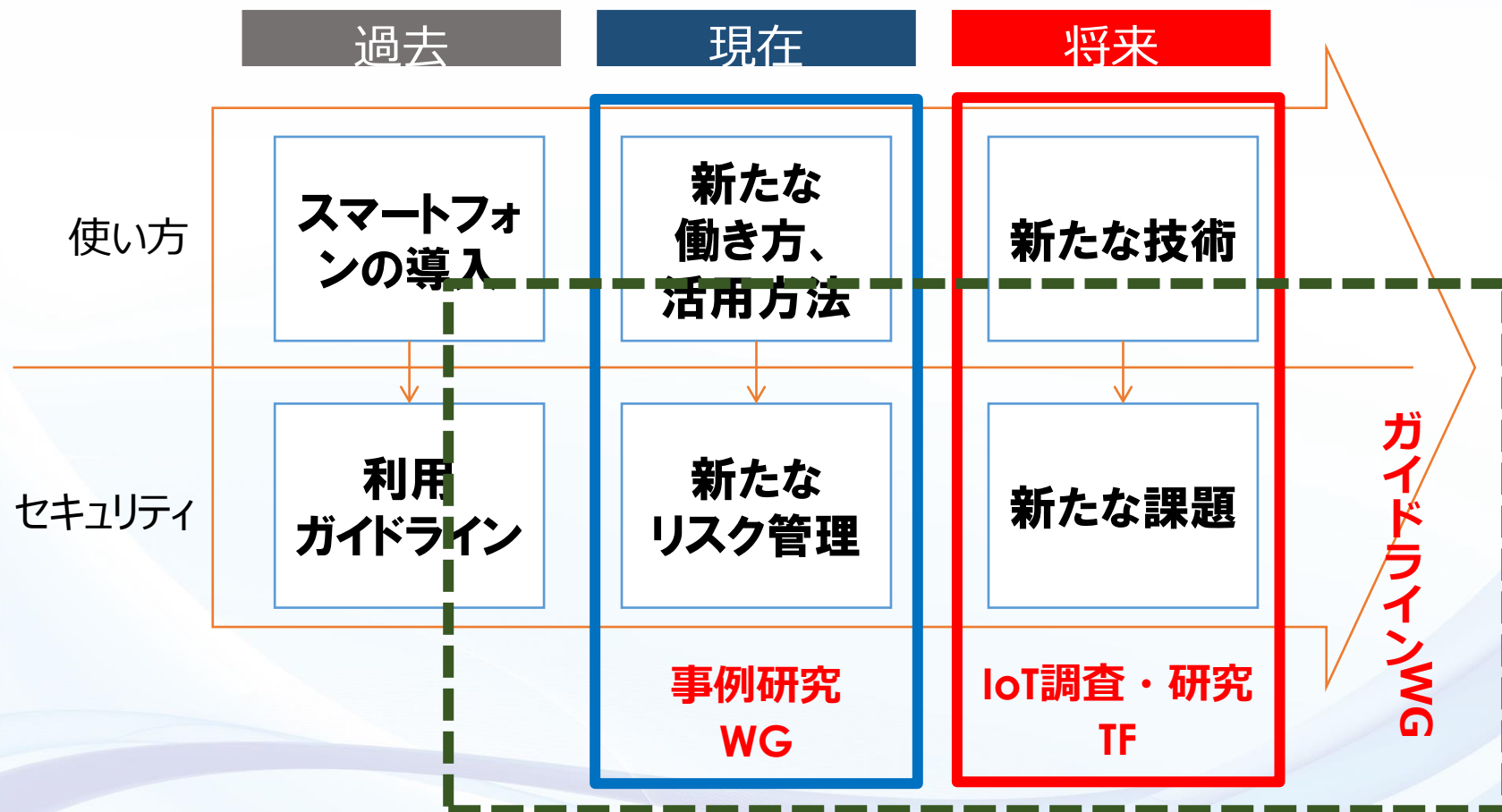
- ・ 在宅勤務も含めた新たな働き方
- ・ モバイルデバイスの進化に合わせたセキュリティ

② 「スマホを機軸としたIoT時代のセキュリティ」

- ・ IoT時代、ユーザとの窓口はスマートフォンが担う
- ・ スマートフォンの使われ方の変化に合わせたセキュリティ

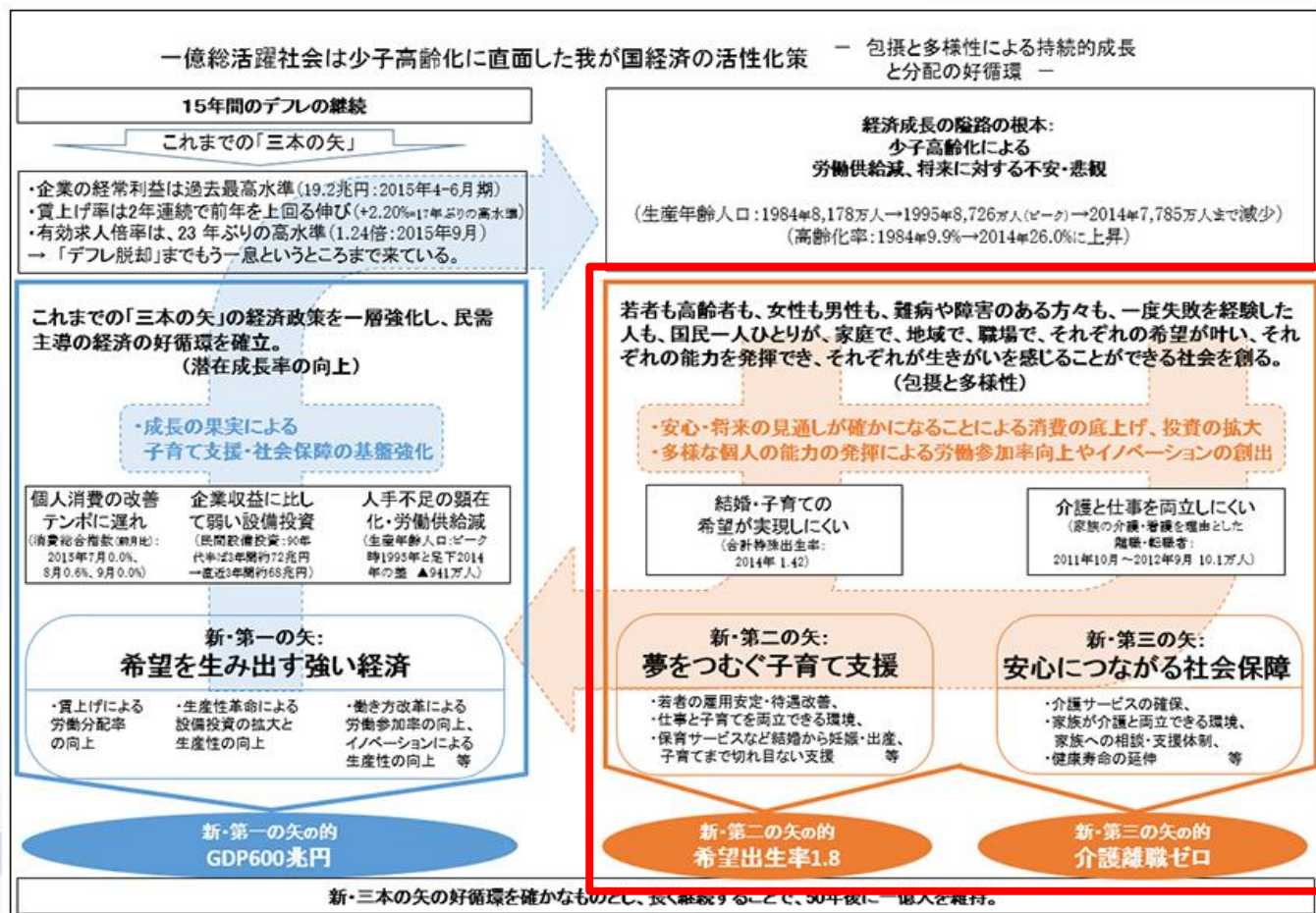
利用部会の活動ご紹介

■ 利用部会のWG/TF活動



利用部会の活動ご紹介

■一億総活躍時代の働き方変革



出典：首相官邸（平成28年6月2日 「ニッポン一億総活躍プラン」）

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/ichiokusoukatsuyaku/#plan>

2017 Copyright (C) JSSEC

■ 活動内容（パンフレットより）

子供たちにセキュリティ啓発のための 教育プログラムを開発
啓発事業部会は、一般の生活者や子どもたちにも安心してスマートフォンを活用できる環境づくりをテーマに活動しています。学生や生徒達のスマートフォン使用の実態やトラブルについて調査実施。また、大学生と連携して、中高生のスマートフォン利用における安全教育プログラム、
「スマートフォンセキュリティ・ワークショップ」を行っています。

「啓発事業部会」の事業とは
JSSECとして、社会に幅広くスマートフォンの安心、安全の啓発活動を広げるための事業を担うという意味があります。

啓発事業部会の活動ご紹介

① 学生団体Re:incと共同で啓発活動を実施



- 小学校、中学校、高校などで、生徒たちを対象にした**セキュリティ・ワークショップ**の開催
- 親子を対象にしたセキュリティ・ワークショップの開催
- ITセキュリティ知識やファシリテーション能力の向上
- その他、サイバー防犯ボランティア活動

啓発事業部会の活動ご紹介

②参加した生徒たちのスマートフォン利用状況調査

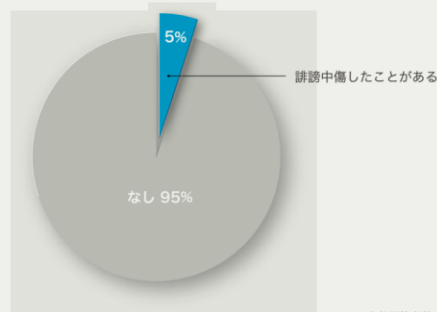
アンケート 5

SNSで
誹謗中傷を
したことが
あるか

一部を除き多くの生徒が「なし」と回答
しかし、クラスに1、2名の割合で誹謗中傷する生徒がいる。

大学生たち(Re:inc)の
一言コメント

・誹謗中傷という意識はなくても、SNS上で悪口を言ったことのある生徒は多いのではないかと。
・誹謗中傷が行われる場がネット内で多岐に渡っていることを考えると、この結果が一概に少ないとは言えないのではないかと。



有効回答者数: 212 人

アンケート 6

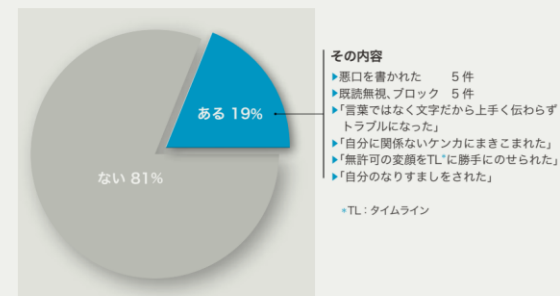
SNSで
いやな思いを
したことが
あるか

約2割が「ある」と回答

悪口や既読無視などを中心に、
いやな思いをしたことがある生徒が約2割。

大学生たち(Re:inc)の
一言コメント

・既読無視の捉え方は人それぞれ。想像していたより、既読無視をネガティブに捉える生徒は少ないと思った。
・「文字だから上手く伝わらずトラブル」というのは、多くの大学生も悩んでいると思う。



その内容

- ▶ 悪口を書かれた 5 件
- ▶ 既読無視、ブロック 5 件
- ▶ 「言葉ではなく文字だから上手く伝わらずトラブルになった」
- ▶ 「自分に関係ないケンカにまきこまれた」
- ▶ 「無許可の変顔をTLに勝手にのせられた」
- ▶ 「自分のなりすましをされた」

※TL: タイムライン

有効回答者数: 101 人

他にもこのような調査を

- ・ 使用している端末の種類
- ・ 親子間利用ルールの設定有無
- ・ SNS上での誹謗中傷の経験有無
- ・ SNS等の利用状況
- ・ SNS上で出会った人と実際に会った理由
- ・ 1日の携帯電話の利用時間
- ・ 親子間利用ルールの内容
- ・ SNS上でのいやな思い等の経験有無
- ・ SNS上で出会った人と連絡した結果
- ・ SNS上で出会った人と実際に会った結

啓発事業部会の活動ご紹介

JSSEC

『スマートフォンセキュリティ・ワークショップレポート 2015』

2016年3月17日発行



レポートの主な内容

私たちの活動について

活動の目的

「なぜ大学生によるワークショップを行うのか？」

活動の内容

「具体的にどのようなワークショップを行っているのか？」

活動の結果

「ワークショップに参加して、生徒たちはどう思ったのか？」

アンケートレポート 2015

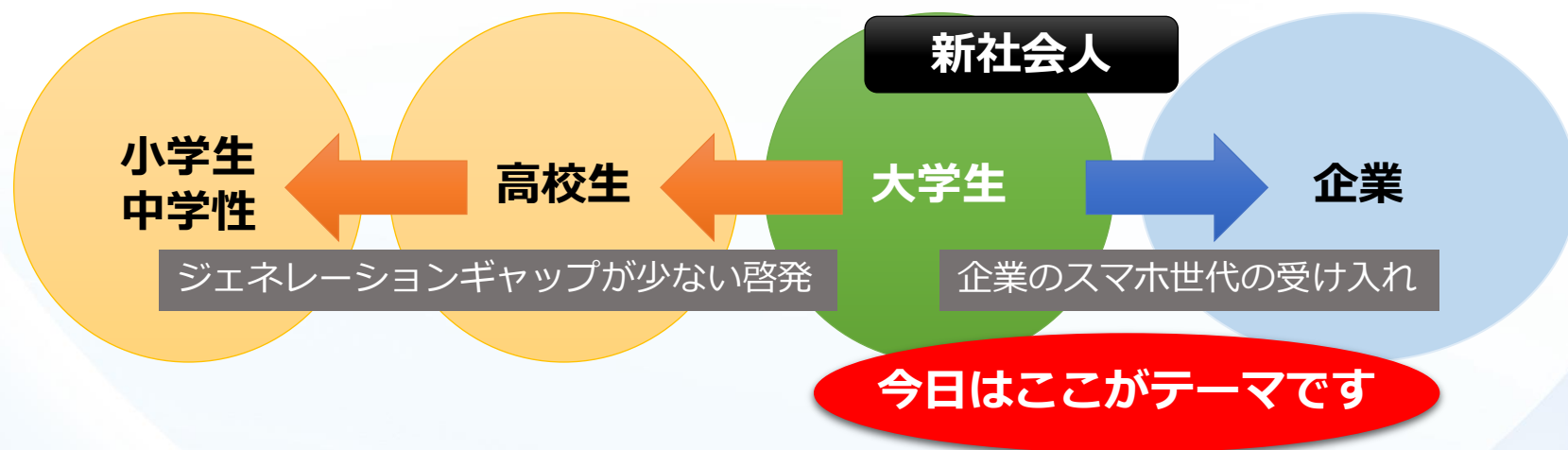
参加した生徒たちのスマートフォンの利用状況

啓発事業部会の活動ご紹介

今後の啓発事業部会

①子供たちへのセキュリティ教育

②スマホ世代の新社会人
セキュリティ教育



スマートフォンが普及した現在、安心利用を社会全体に啓発

(1) 各部会の取り組みについて

- 学生団体Re:incのワークショップデモ
Re:inc代表 窪田 大悟（中央大学）

学生団体Re:inc（リンク）とは

- ・大学生を中心としたサイバー防犯ボランティア団体

5大学 15名

慶應義塾大学・中央大学・明治大学・専修大学・一橋大学

（2017年2月現在）

- ・Re:inc = “**R**ethink about the **i**nternet **c**rime”

「ネットいじめ」に代表されるインターネットトラブルに巻き込まれる子どもたちを減少させ、スマートフォンをはじめとしたIT機器との「共生」の在り方を大学生の立場から、保護者や教員の方とともに考えること

学生団体Re:incのワークショップ°デモ

主な活動（ワークショップ）

- ・小学生～高校生向けワークショップ 9校（2015～16年度）
- ・大学生向け団体紹介、ワークショップ @横国、東洋大、その他
- ・親子向けワークショップ @海老名
- ・保護者、PTA向け講演
- ・その他イベントでの講演など



メンバーのスキルアップ活動（勉強会）

- ・定例ミーティングでの情報共有
- ・サイバー防犯ボランティア、サイバーセキュリティ勉強会への参加



その他の主な活動

- ・情報セキュリティワークショップin越後湯沢2016 車座への参加
- ・Facebook「いじめ防止ハブ」協力団体 等

学生団体Re:incのワークショップ°デモ

活動契機（大学生の役割）

- ① 「デジタルネイティブ（Digital Natives）」世代として生徒と**同じ目線に立った活動**ができるのでは？
- ② 「歳の近い」大学生だからこそ、**生徒が素直に受け入れてくれる環境を作れる**のでは？
- ③ その中で、生徒～大人の**仲介役**になれるのでは？

大学生によるワークショップ°の可能性

学生団体Re:incのワークショップ°デモ

ワークショップの流れ



学校や生徒の
状況を踏まえ、
ワークショップの
テーマを設定する

シナリオを提示
生徒をいくつかの班にわけ
ワークショップや意見交換を
実施

学生団体Re:incのワークショップ°デモ

ワークショップの流れ

導入

- グループ分け
- Re:incの説明
- 近年のSNS事情の紹介

シナリオ 例1

6人の生徒が参加するSNSグループで
Aさんが既読無視している状況
課題1：Aさんはなぜ既読無視をするのか。
課題2：既読無視された人はどう感じるか。

シナリオ 例2

BさんたちがAさんに対して悪口を言い
始めた。
課題1：このあと、AさんやBさんたちに
どのようなことが起こるか。

ワーク

- 自己紹介
- シナリオの説明
- グループディスカッション（ワーク①・②）

発表

- グループごとに発表
- 質疑応答
- まとめ

シナリオを提示し、
生徒たち自身で
「なぜ？」「どうなる？」
「どうする？」を導き出す



大学生と一緒に考えてみよう！

「ネットの会話とリアルな会話で何が違う？」



チャットで会話
(ネット)

その服
かっこよくない



面と向かって会話
(リアル)

大学生からの提案

- ・送信、投稿前にひと呼吸 – 「他人はどう思うだろう」
- ・返信来ないときは？ – もしかしたら忙しいかも
- ・これって正しい情報？ – 信憑性があるか確かめよう
- ・冗談？おふざけ？ – でも伝わるかな？
- ・相手のことを考えてあげよう – SNSではより一層の思いやり



(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ 事前アンケート結果

- ・ ここでは、調査結果の事実をお伝えします。
- ・ 調査結果を受け、パネルディスカッションにて分析やご意見を頂きます。

(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ 調査対象、調査方法

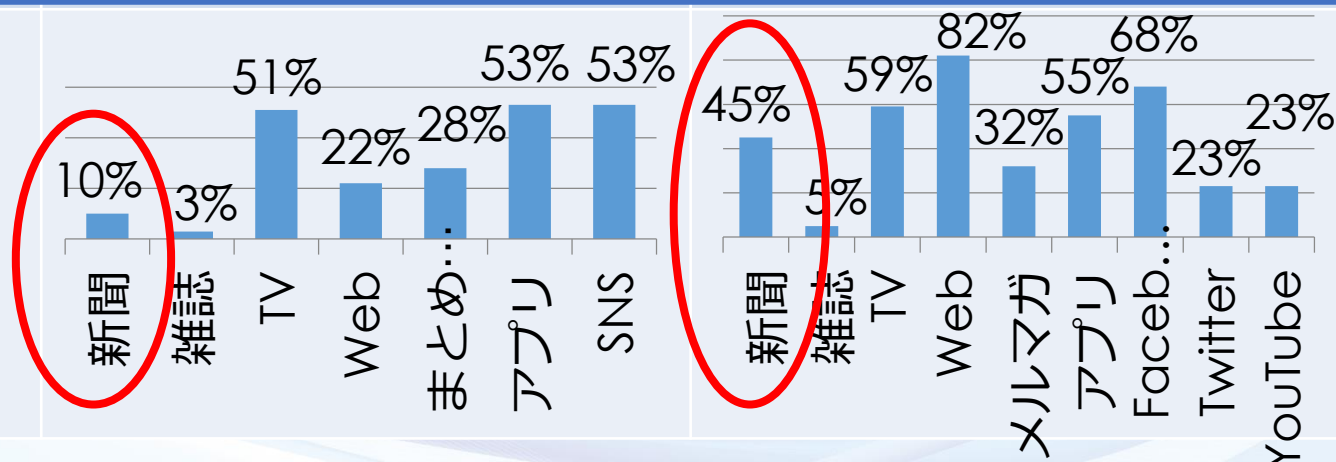
	大学生	社会人
調査対象	一般大学生	JSSEC会員、本日参加者
調査方法	Webアンケート	メール、Excel添付
回答人数	441	22
学年と年代構成	院生 4年 3年 2年 1年 54% 47% 55% 47% 4%	60代 50代 40代 30代 20代 5% 27% 32% 32% 5%

(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ 日常的に使うニュースや情報収集ツールは？

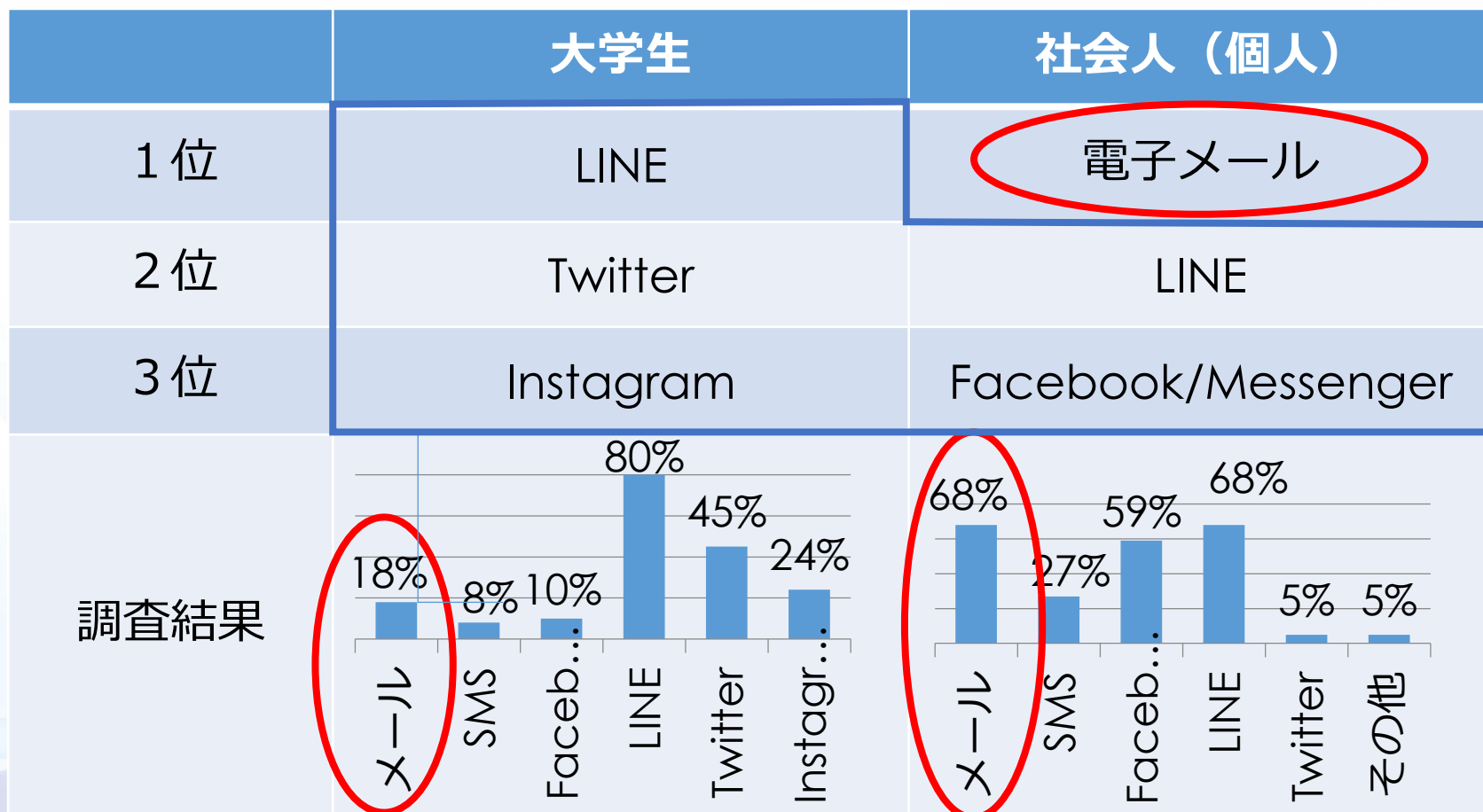
	大学生	社会人
1 位	スマホニュースアプリ	Web
2 位	SNS	Facebook
3 位	TV	TV

調査結果



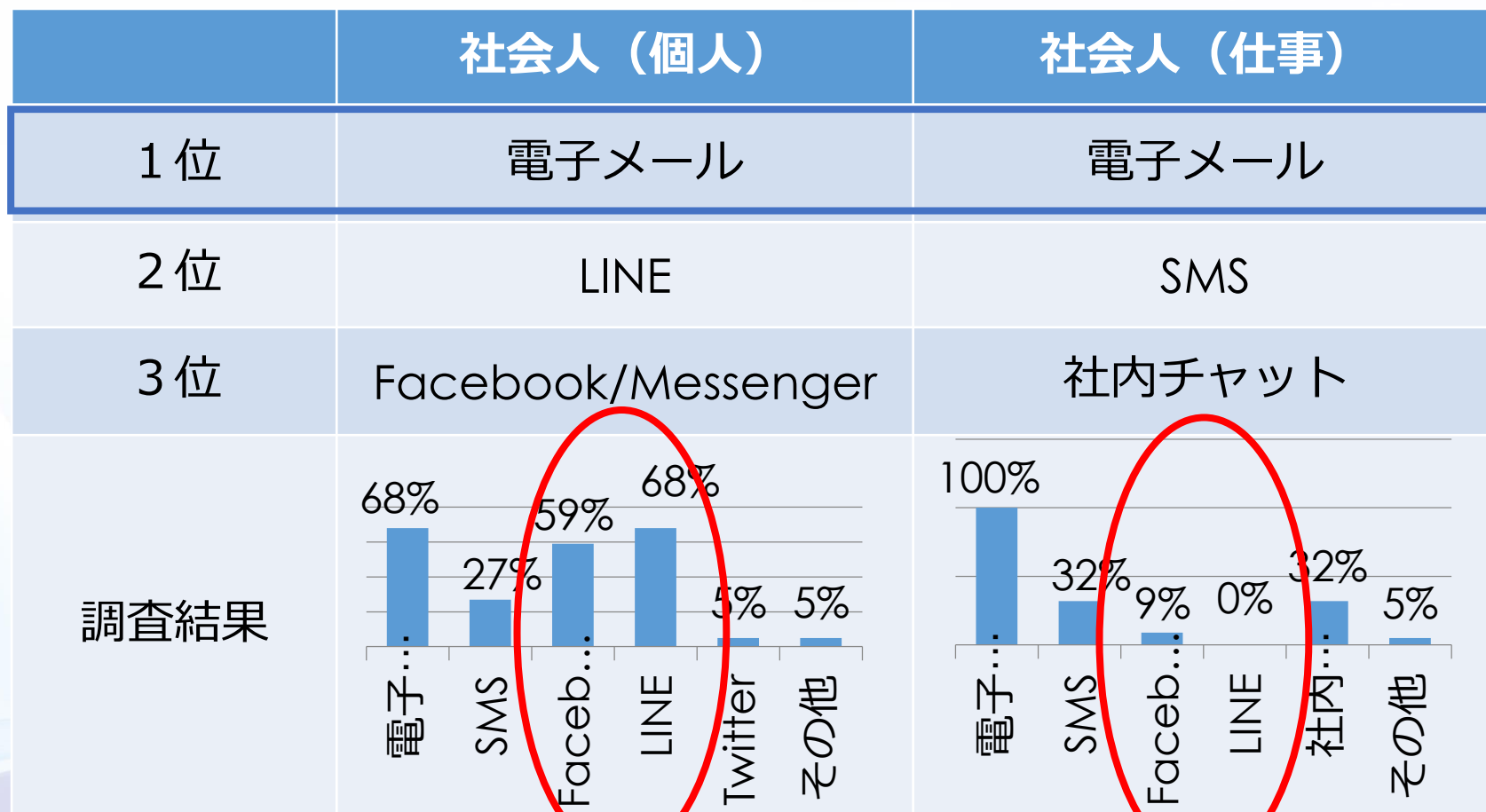
(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ 日常的に使うコミュニケーションツールは？



(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ 日常的に使うコミュニケーションツールは？

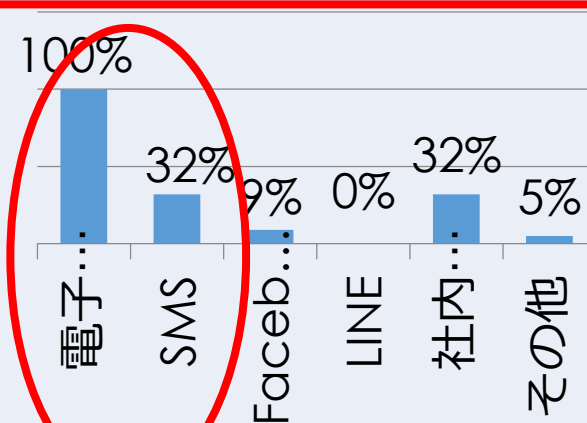
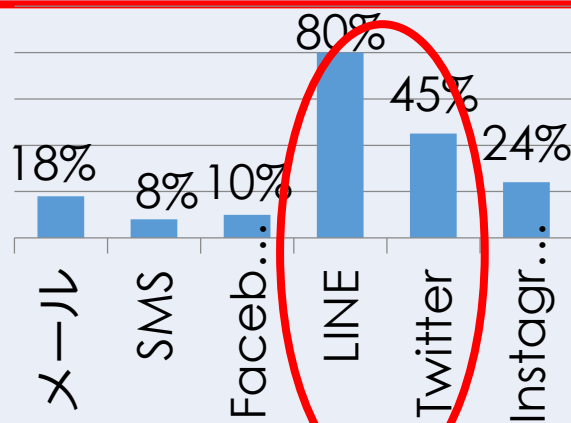


(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ 日常的に使うコミュニケーションツールは？

	大学生	社会人（仕事）
1 位	LINE	電子メール
2 位	Twitter	SMS
3 位	Instagram	社内チャット

調査結果

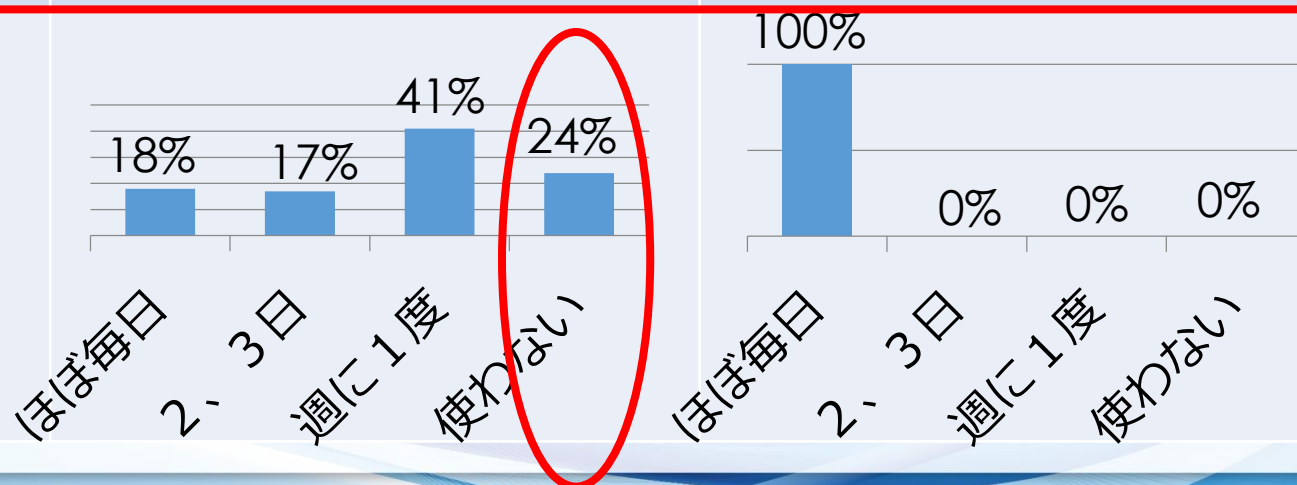


(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ 電子メールの使用（受信内容の確認）頻度は？

	大学生	社会人（仕事）
1 位	週に 1 度	ほぼ毎日
2 位	使わない	-
3 位	ほぼ毎日	-

調査結果

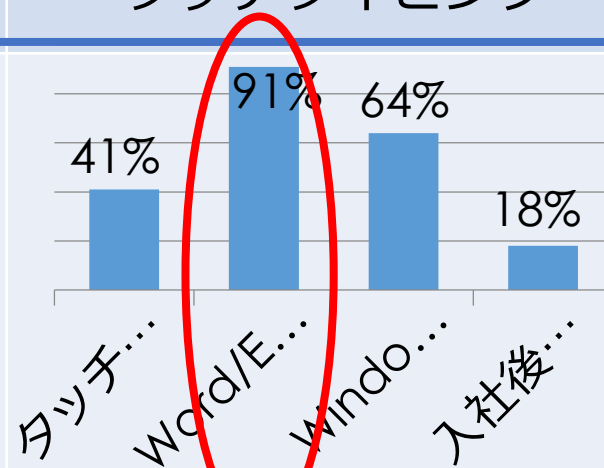
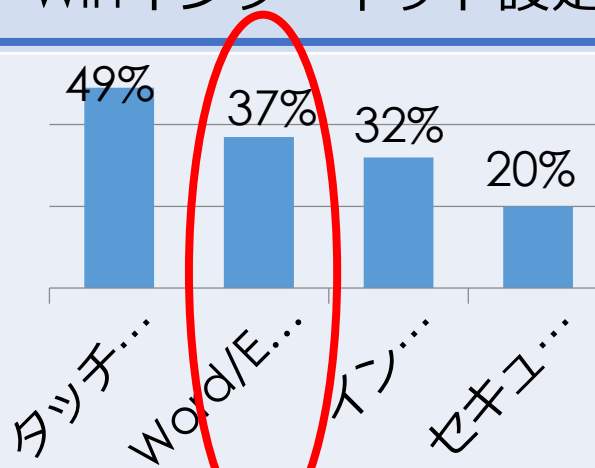


(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ 新人に求めるITリテラシーは？

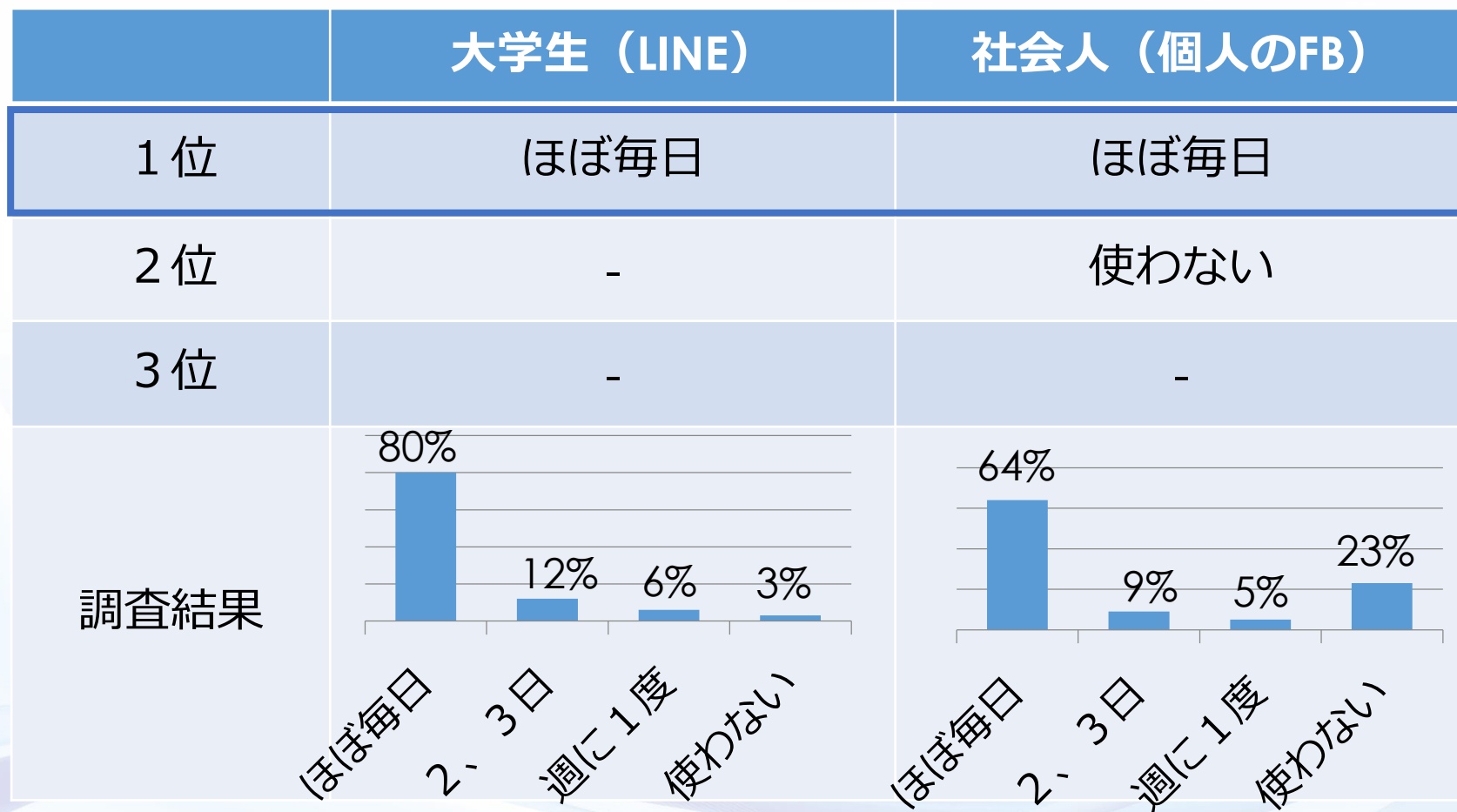
	大学生（困ることない）	社会人（要求）
1 位	タッチタイピング	Word/Excel/PowerPoint
2 位	Word/Excel/PowerPoint	Windowsの基本
3 位	Winインターネット設定	タッチタイピング

調査結果



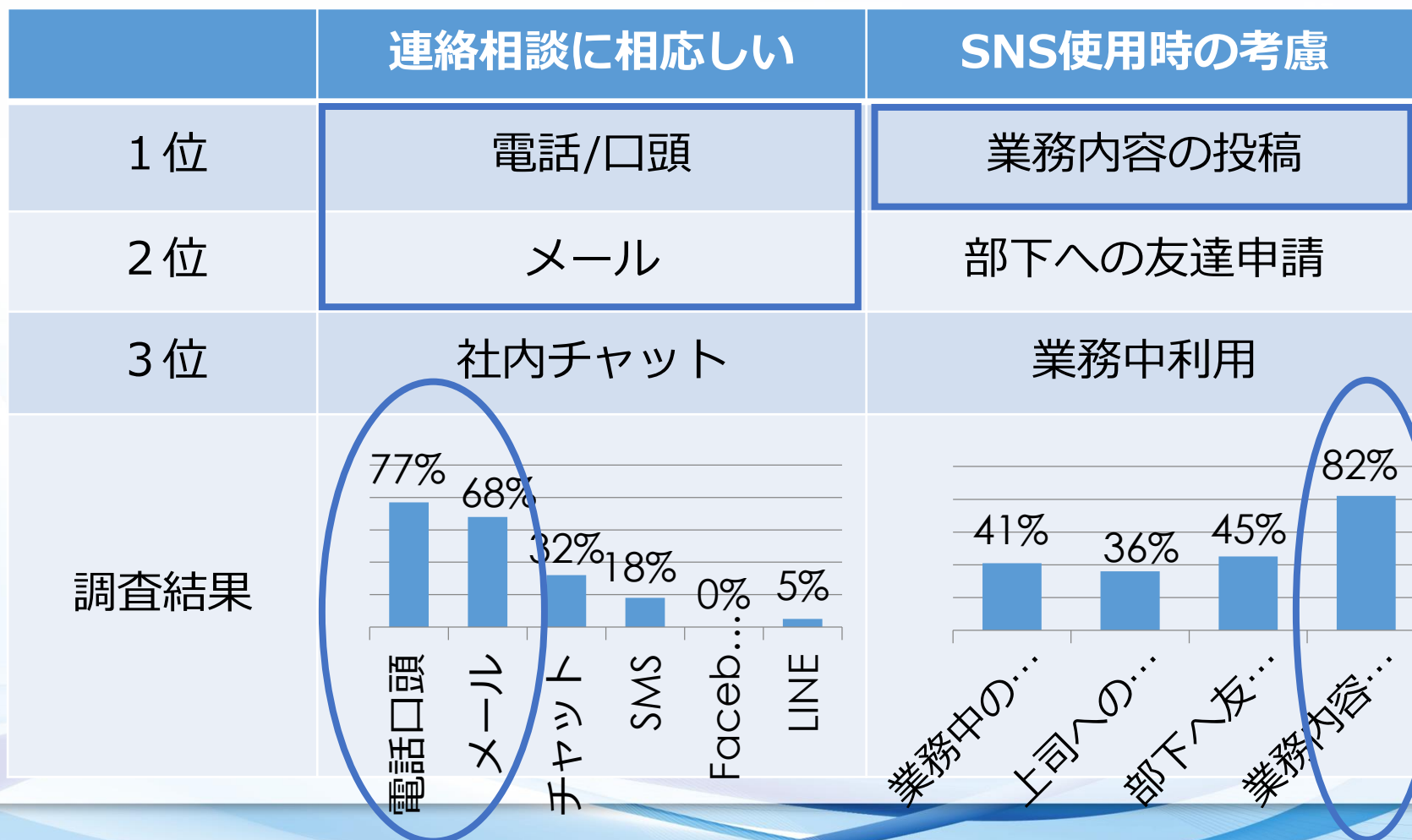
(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ SNSの使用の頻度は？



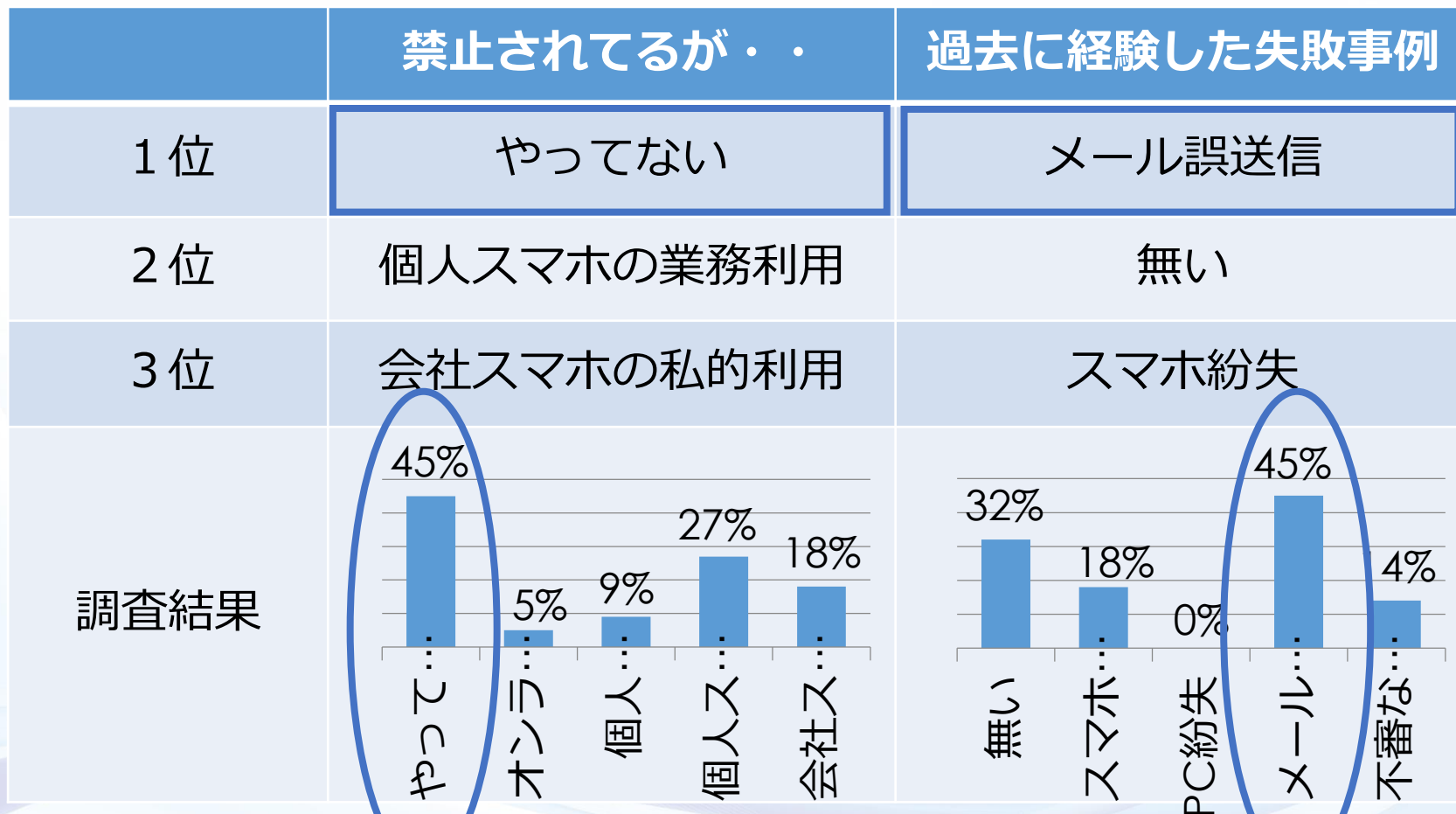
(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ その他、**社会人**の意識



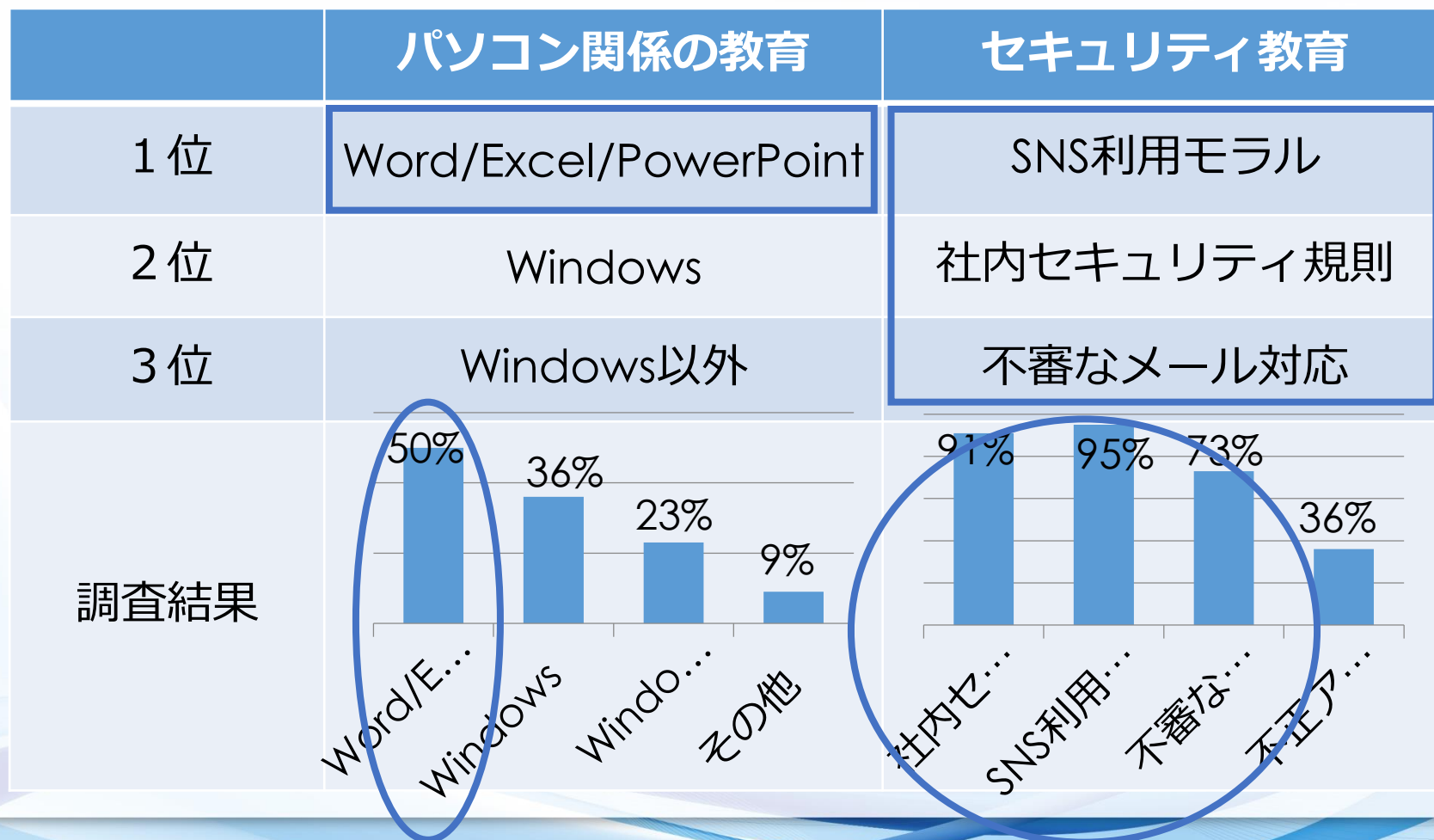
(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ その他、**社会人**の意識



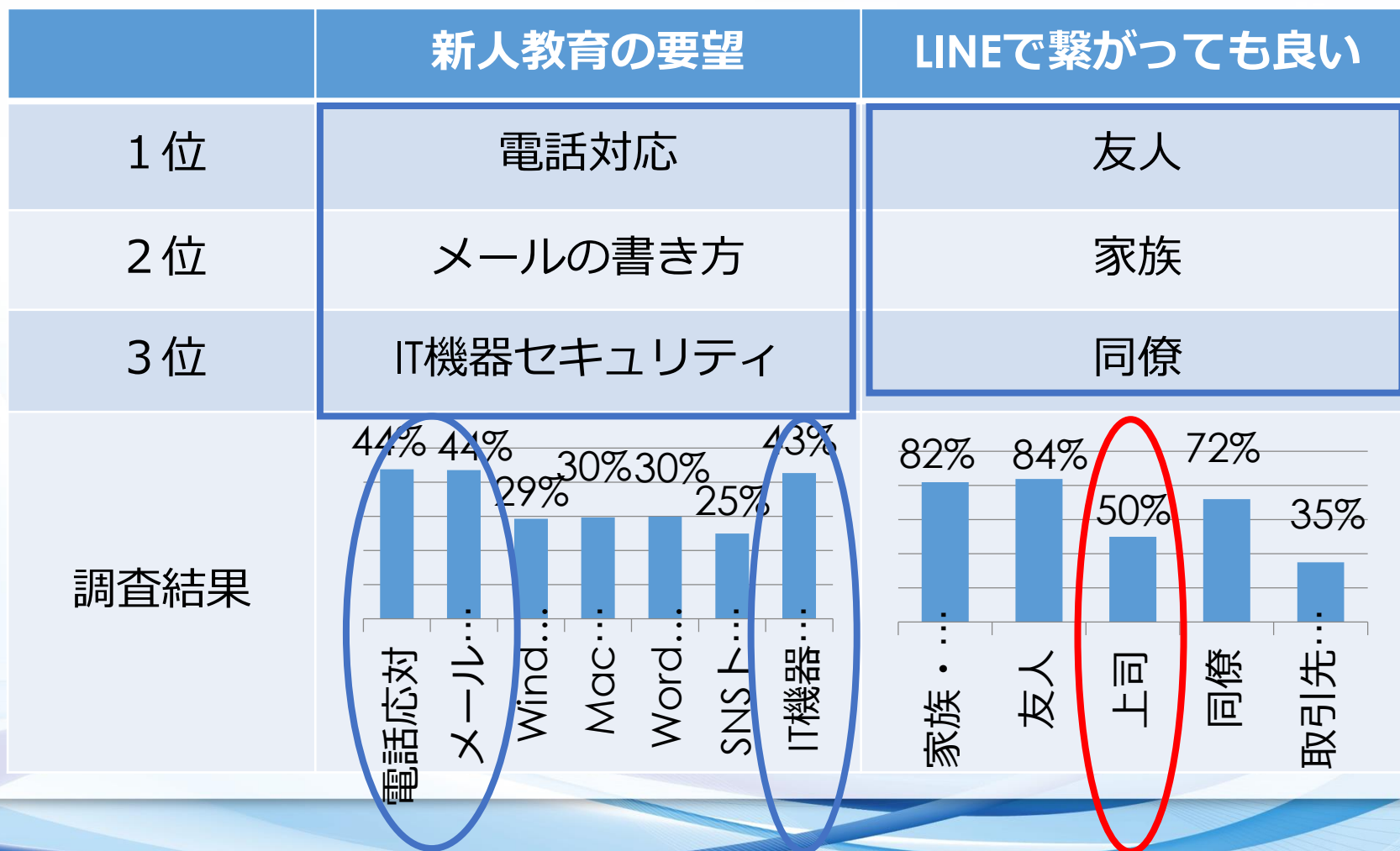
(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ その他、**社会人**の意識



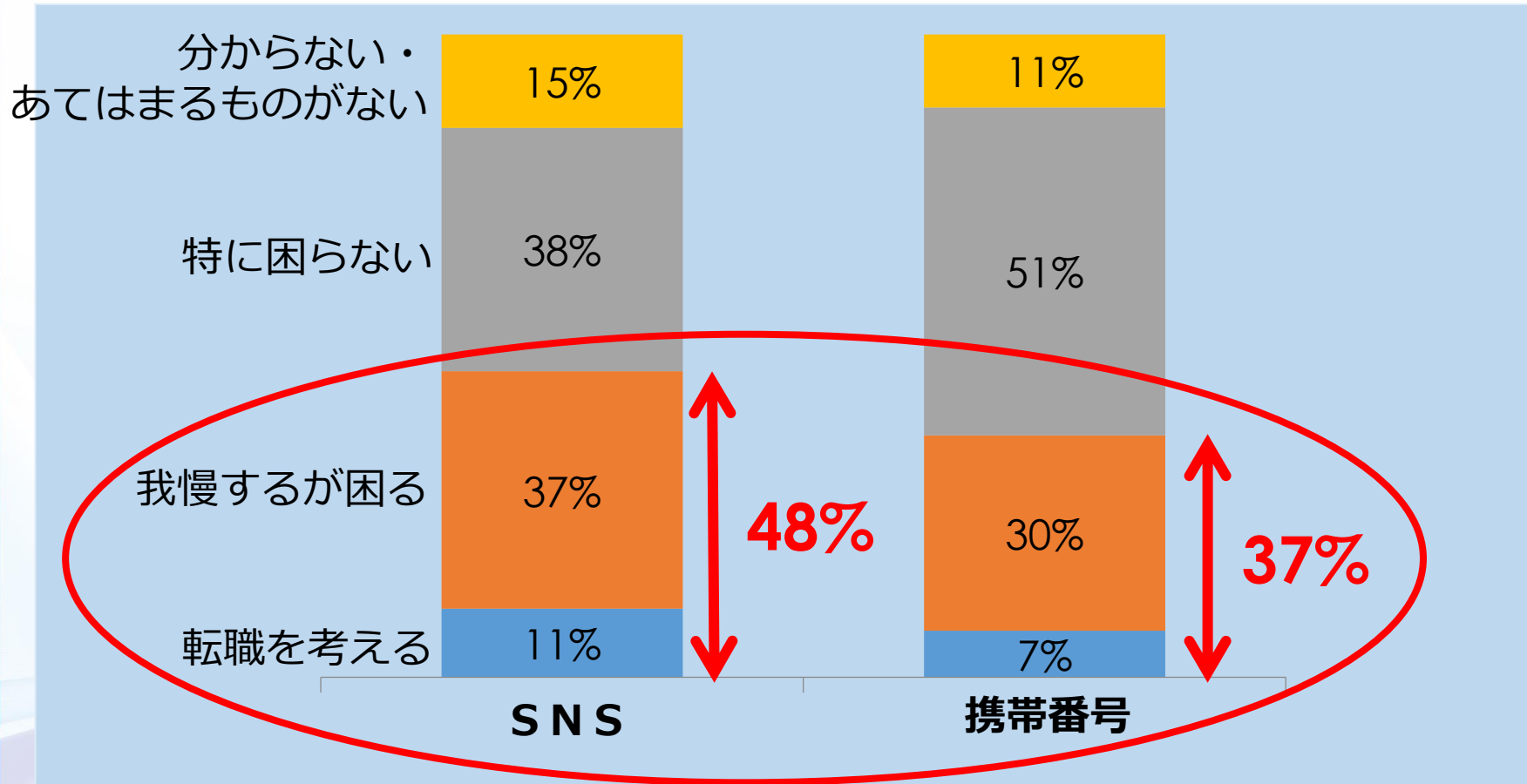
(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ その他、**大学生**の意識



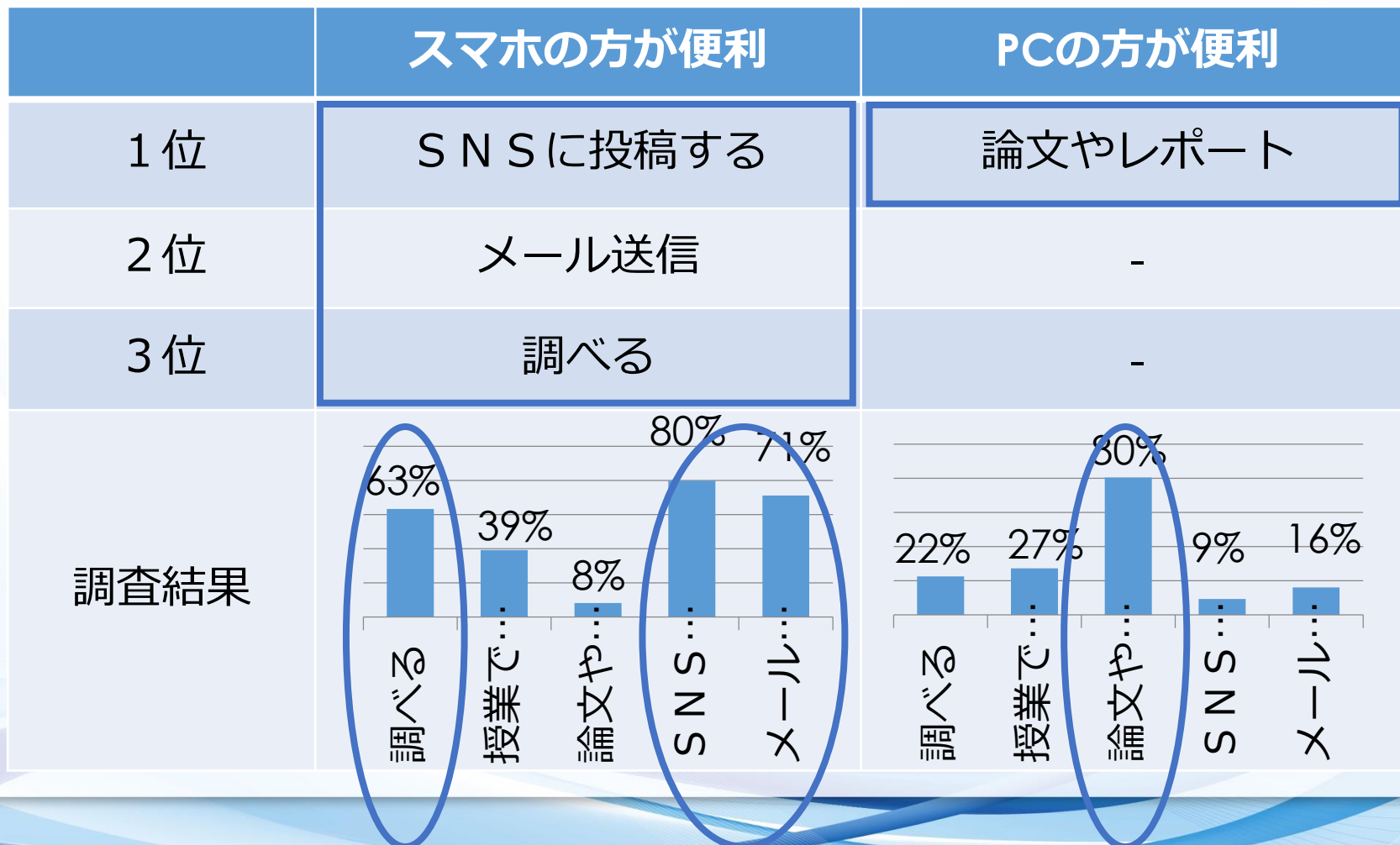
(補足-1)

私用で**上司と繋がる**必要があると言われたら？



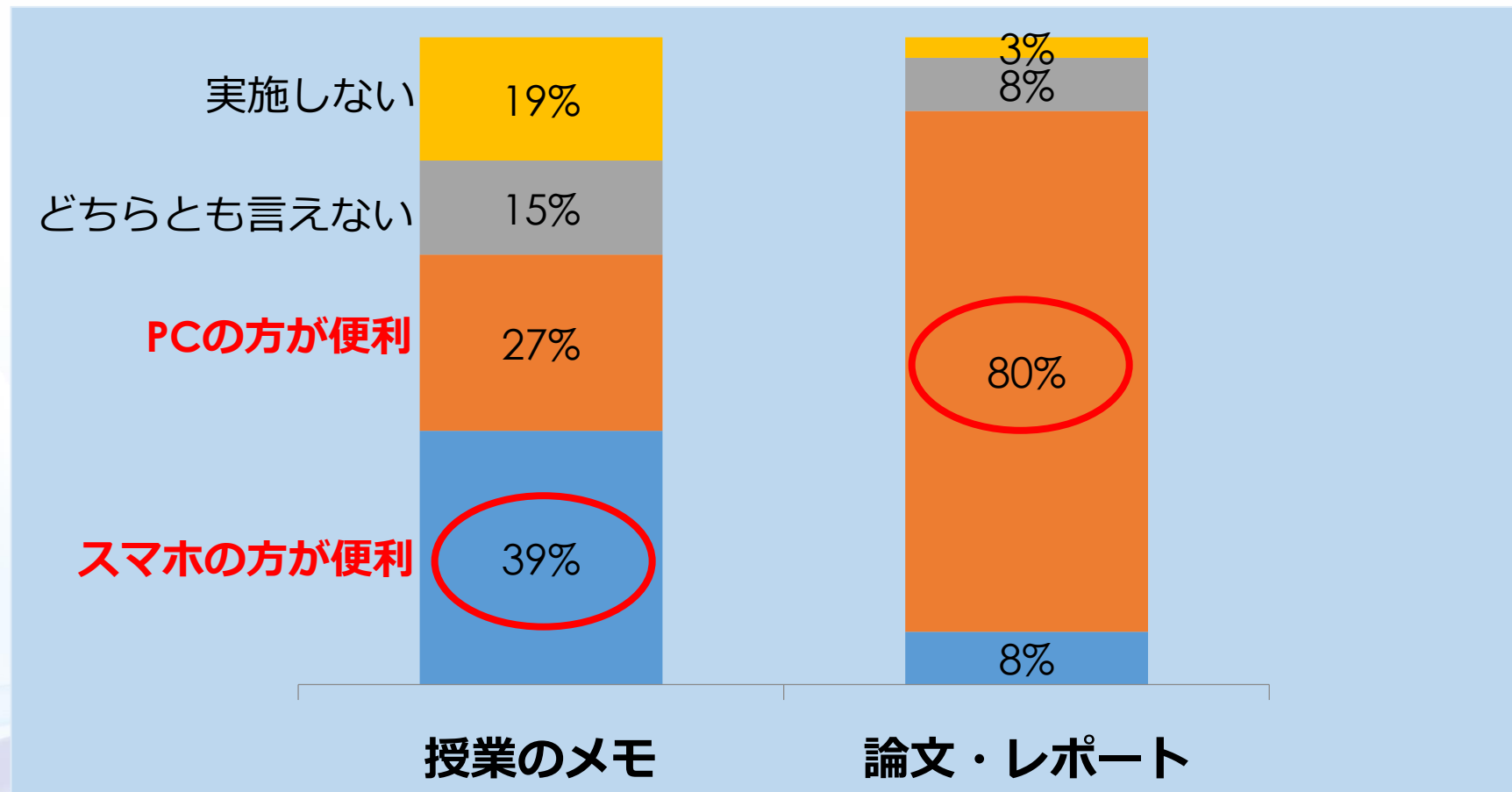
(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ その他、**大学生**の意識



(補足-2)

テキストを打つ場合、どちらの方が便利か？

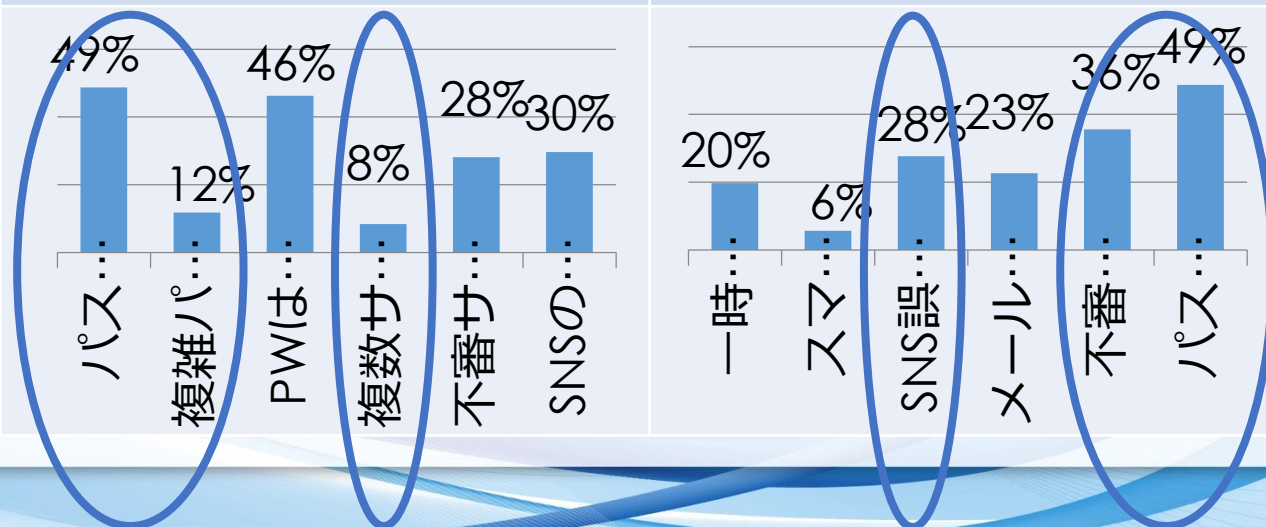


(2) 大学生、社会人のネット意識調査

■ その他、大学生の意識

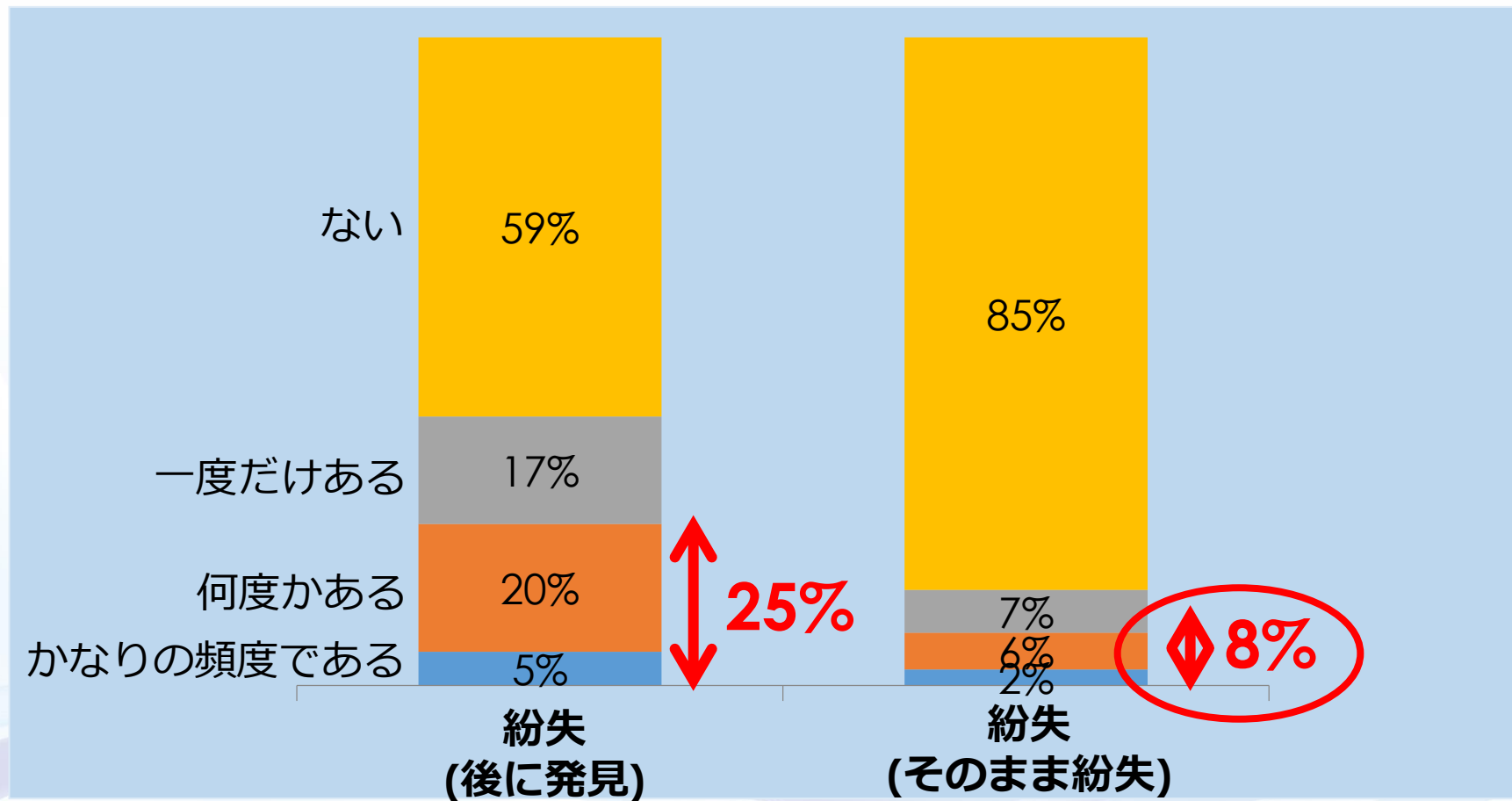
	スマホを安全に使う為に	過去に経験した失敗事例
1 位	パスワードロック	パスワード忘れ
2 位	PWは他人に教えない	不審メールの開封
3 位	SNSの公開範囲を限定	SNS誤送信

調査結果



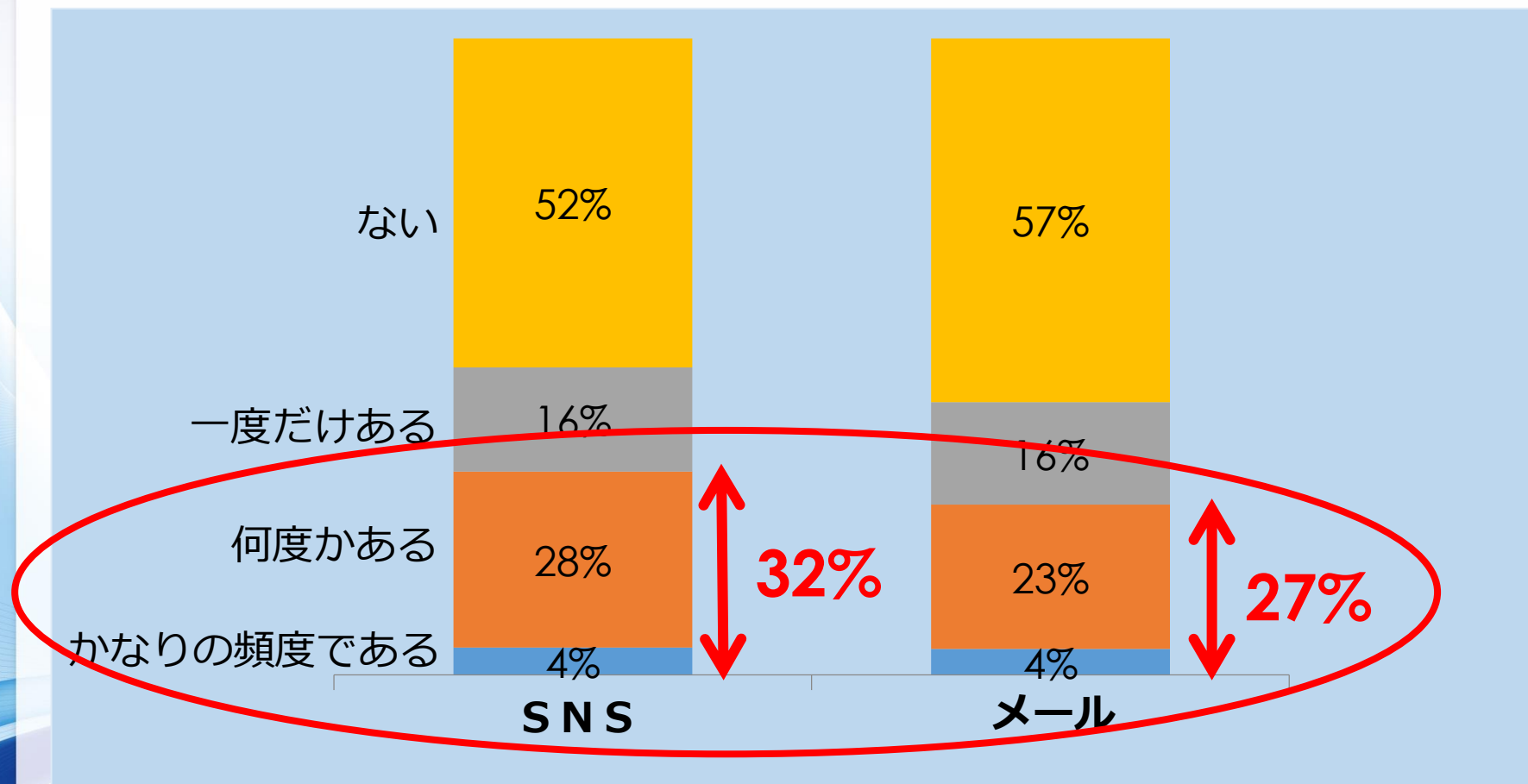
(補足-3)

スマホを失くしたことは？



(補足-4)

メッセージを違う人に送ってしまったことは？



(3) パネリスト自己紹介

氏 名	所 属
松下 綾子	利用部会 利用ガイドラインWG リーダー (アルプスシステムインテグレーション株式会社)
藤平 武巳	利用部会 事例研究WG リーダー (NTTコミュニケーションズ株式会社)
窪田 大悟	Re:inc 代表 (中央大学4年)
石川 果歩	Re:inc 副代表 (慶應義塾大学3年)
岩田 裕介	Re:inc メンバー (慶應義塾大学1年)

**休憩時間を利用し展示ブースに
お立ち寄り下さい。**

**パネルディスカッションは
14:00開始です。**

(4) パネルディスカッション

■ テーマ

	パネルディスカッションのテーマ	時間
①	スマホ、SNS世代の新社会人とPC、メール文化の企業との課題はなにか？ ・ 世代間の違いは、問題なのか？ ・ 双方の不安は何か？	20分
②	不安を解消するために何が必要か？ ・ 受け入れ側が変わらないといけない部分 ・ 学生側が意識すべきことは ・ セキュリティ面の課題は	20分
まとめ	受け入れる企業、送り出す大学の啓発活動の課題 ・ 企業向けガイドや啓発は何が必要か ・ 就職活動中の大学生向けの啓発は何が必要か ・ 世代間のギャップをどう乗り越えるか	15分

ご協力ありがとうございました。